

# 高学年3組 虹の輪タイム学習指導案

授業日 平成27年9月30日(水) 授業A  
授業者 附属新潟小学校 教諭 越村 尚貴  
会場 高学年3組教室

## 1 単元名 「もっと新潟がおもしろくなる！魅力伝え隊」

## 2 本単元の価値

本単元の目標は、次の通りである。

新潟のまち歩きの魅力や、日和山の価値を伝える野内さんにかかわる活動を通して、野内さんが活動にどんな思いを込めて取り組んでいるかをとらえることができる。

学習対象及び学習事項は、次の通りである。

<b>【学習対象】</b> ・野内さん (まち歩きのパイオニア) (日和山五合目館長) (新潟観光カリスマ)	<b>【学習事項】</b> ・まち歩きや日和山での活動を通して、まちの魅力を伝え続けている野内さんの思い ・まちの魅力を伝える活動が、野内さんの自己実現につながっているという事実 ・今、そこにあるものの価値を見つけようとする態度 “ないものねだり”よりも“あるものさがし”
--	--

本単元では、新潟のまち歩きの活動を自発的に初め、現在も新潟のまちの魅力を伝え続けている新潟観光カリスマの野内さんを学習対象とする。1学期は、野内さんと出会い、話を聞いたり一緒にまち歩きをしたりしてきた。その中で、子どもたちは、野内さんがなぜまち歩きをしているのか、どんな思いで日和山に「日和山五合目」(野内さんが建設した資料館・カフェ)を造ったのかに触れてきた。そして、子どもたちは、野内さんは自分の思いを実現させたすごい人だ、と感想をもった。

本単元では、野内さんとのかかわりや体験活動から、野内さんがなぜそのような活動を続けてきたのか、活動にどんな思いを込めて取り組んでいるかをとらえさせる。1学期の学習で子どもは、野内さんの活動が地域活性化につながっていること、それが自分のやりがいになっていることを、表面的にはとらえている。しかし、体験が受け身であったため、実感的には野内さんの思いをとらえられてはいない。子どもにとらえさせたい野内さんの思いは、どんなところにもよさや面白さがあること、“ないものねだり”をするのではなく“あるもの探し”をしようとするところに表れている。この思いがあるから、野内さんは自分が生まれ育った新潟のまちに面白さを見いだし、まち歩きや日和山での活動を通して、まちの面白さを発信していくことができたのである。つまり、新潟のまちの魅力を“あるもの探し”の考え方で見つけ発信することが、地域活性化につながり、それが自己実現にもなっているのである。

この野内さんの思いを子どもにとらえさせることは、価値ある学びとなる。なぜなら、子どもたちは自分の未来に対して、今は否定的な見方をしているからである。漠然と将来なりたい職業はあっても、どうやって生きていくかということは考えていない。その結果、失敗したくない、自信がもてない、といった考えが先行してしまい、自分の将来の生き方に前向きになれない様子が見られる。そんな子どもたちが野内さんと出会い、物事を否定的にみるのではなく、まわりにあるもののよさや面白さを見つめる大切さを学ぶことで、野内さんのような考え方で今現在や将来の自分に向き合うことができるのである。これは、野内さんの生き方から自分自身を考えることを意味しており、本単元の価値だと考える。

## 3 本単元で目指す姿と「中核的な知識や技能」「学びをつなぐ力」

### (1) 目指す姿

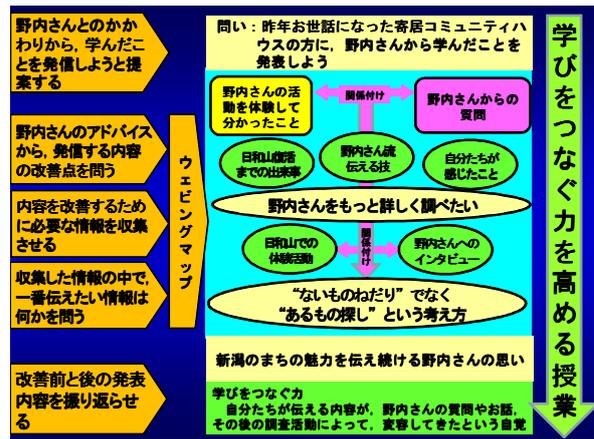
野内さんが取り組んでいる活動を体験し、その意味を発信することを通して、活動に込められた野内さんの思いをとらえる子ども

(2) 「中核的な知識や技能」

新潟のまちの魅力を伝え続ける野内さんの思い（新潟のまちの魅力を“あるもの探し”の考え方で見つけ発信することが、地域活性化につながり、自己実現にもなっているということ）

(3) 「学びをつなぐ力」

- ・ 関係付けるすべを用いて、自分の気付きと野内さんからのアドバイスや質問と結び付けて新たな課題を設定する力
- ・ 関係付けるすべを用いて、収集した情報を結び付けて、野内さんの思いをとらえる力



4 指導計画 全20時間 (60Q)

単元カード参照

5 指導の構想

1学期の「みんなで歩こう新潟のまち」の学習では、新潟のまちの魅力を知るための活動として、まち歩き活動を行ってきた。1回目のまち歩きは、新潟シティガイドの方と附属新潟小学校の回りにある名所を歩き、石碑や建物にまつわるお話を聞いた。2回目と3回目のまち歩きは、新潟観光カリスマの野内さんと一緒に歩いた。野内さんからは、新潟のまちの魅力として、小路や通りにまつわるお話や、日和山という場所が、新潟が湊町であったことを象徴する大切な場所であることを教えてもらった。子どもは野内さんとかかわりや一緒にまち歩きをしたことで、新潟のまちにはたくさんの魅力があることを学んだ。また、自作でまち歩きのパンフレットを作ったり、日和山の魅力を伝えるために「日和山五合目」を造ったりした野内さんはすごい人だという感想をもった。しかし、まち歩き活動が受け身的であったため、活動に込められた野内さんの思いはとらえられていない。

このように、まだ野内さんの思いを実感的にとらえられていない子どもが、目指す姿に変容することを促すために、野内さんから学んだことを発信することを提案した。発信する場を設定することで、野内さんの活動だけではなく、それをつき動かす思いまでとらえることができるのではないかと考えた。誰に伝えたいか問うと、子どもは、県外の人、日和山の近くに住んでいる小学生、附属新潟小学校の他の学年の人、昨年お世話になった寄居コミュニティハウスの利用者の人と答えた。そこで、その中で一番誰に伝えたいか問うと、子どもは今までの体験を想起して、寄居コミュニティハウスの方が一番喜んでくれるのではないかと考えた。また、野内さんの活動は15年間ほどの取組であることから、コミュニティハウスを利用される高齢者の方々は、それを知らないのではないかと予想した。

寄居コミュニティハウスでの発信活動を設定した後で、野内さんから学んだことの中で、何を伝えたいかを問うた。子どもは、実際に「日和山五合目」に行ったことから、日和山のよさを伝えたいと考え、伝える内容を吟味していった。しかし、子どもたちの伝える内容を見ると、野内さんが「日和山五合目」を建てたこと、そこには日和山についての資料があること、ゆっくり休めるカフェがあることなど、野内さんの活動には触れているものの、どのような思いでその活動を進めてきたかまでは触れられていない(C0)。このように、まだ野内さんの思いをとらえられていない子どもに、次のように働き掛ける。

働き掛け1

野内さんから発信する内容をみてもらう機会を設定し、内容や伝え方についてアドバイスや質問をしよう。

子どもに発信内容はこのままでよいのか、という課題意識をもたせるための働き掛けである。

寄居コミュニティハウスの方々に発信する内容を、野内さんからみてもらい、内容や伝え方についてアドバイスしよう。このとき、野内さんからは、子どもの発表でよいところを褒めてもらうようにする。肯定的に評価された子どもは、自分たちが発信する内容に自信をもつ。

その後で、野内さんから発信する方法や内容について質問をしよう。この野内さんの質問(「対象」)に答えていくことで、子どもは自分たちがどんな目的で、何を発信しようとしているのか見直していく。その中で、子どもは自分たちが発信する内容は今のままでよいのだろうか、という課題意識をもつ。

働き掛け2

野内さんの思いを聴く場を設定する。

野内さんの思いと、自分たちの発信する活動の意味を結び付けさせるための働き掛けである。

野内さんの質問(「対象」)によって、発信する目的や内容を見直した子どもに、野内さんがどのような思いで活動に携わってきたかを聴く場を設定する。野内さんの思いを聴いた子どもは、関係付けるすべを用いて、野内さんが面白さを発信する活動によって感じたことと、自分が今まで発信して感

じたことを結び付け、その思いに共感する。そして、自分たちが発信しようとしていることは、野内さんが取り組んできたことと似ていて、地域にとっても自分にとっても意味のあることだと気付く。

### 働き掛け3

**野内さんの思いを整理させた上で、発信する内容と方法について、改善点を問う。**

発信する内容を改善するために、何をどのように改善するのか考えさせるための働き掛けである。

野内さんの思いを聴いた子どもに、話を聴いて心に残ったことは何かを問う。子どもは関係付けるすべを用いて、自分の今までの経験と野内さんの話を結び付け、共感したことを挙げていく。このとき、ウェビングマップを活用して自分たちが共感した野内さんの思いを整理させる。整理したものを基に、発信する内容と方法について、改善点を問う。子どもは、関係付けるすべを用いて、野内さんの思いが表れている情報をもっと取り入れたいと考える。

### 働き掛け4

**発信する内容を改善する視点をもたせた上で、調査活動に取り組ませる。**

課題に対する情報を収集させるための働き掛けである。

発信する内容を改善する視点をもたせた上で、調査活動に取り組ませる。子どもは、実際に日和山を訪ねて野内さんにインタビューをしたり、資料を見せてもらったりする。この調査活動で、子どもは関係付けるすべを用いて、野内さんから聴いた話と収集した情報を結び付け、野内さんの思いが表れた情報を収集していく。

### 働き掛け5

**収集した情報を整理させ、その中で一番伝えたい情報は何かを問う。**

「中核的な知識や技能」を獲得させるための働き掛けである。

収集してきた情報を、ウェビングマップを活用して整理させる。子どもは、関係付けるすべを用いて、自分たちが設定した視点に合った情報か、伝える内容として適切かどうかを判断していく。ここで、活動に込められた野内さんの思いをつかませるために、収集して整理した情報の中で、一番伝えたい情報は何かを問う。子どもは、関係付けるすべを用いて、収集した情報同士を結び付け、野内さんの思いが一番表れている情報を選ぶ。そのような子どもに、なぜその情報を選んだのか理由を問う。子どもは、選んだ情報には野内さんの思いが表れていることを説明する。例えば、野内さんが紹介された新聞記事では“ないものねだり”でなく“あるもの探し”の面白さを伝えたいという、野内さんの思いが表れている。このように、子どもは収集した情報から、活動に込められた野内さんの思いをとらえる。これが**活動に込められた野内さんの思いをとらえた子どもの姿**である。

### 「学びをつなぐ力」の有用性の自覚を促すための働き掛け

**発信活動を行った後の振り返りで、野内さんとのかかわりで自分が何を、どのように学んだのかを問う。**

学びをつなぐ力の有用性の自覚を促すための働き掛けである。

一番伝えたい情報を選び、それを寄居コミュニティハウスの方々に発信する活動を行う。子どもは、自分たちがとらえた野内さんの思いを発信することで、改めて活動に込められた野内さんの思いを実感する。

発信活動を終えた後、自分たちが取り組んできた一連の学習活動を振り返らせる。そのときに、野内さんとのかかわりで自分が何を、どのように学んだのかを問う。子どもは、野内さんがどのような思いで活動に取り組んできたのか、自分たちが野内さんとのようにかかわってその思いを学んだのかを考える。そして、子どもは、野内さんの活動に込められた思いと、その思いをアドバイスや質問を受けてからの調査活動や、そこで収集した資料を関係付けたことで学ぶことができたと考え。これが学びをつなぐ力の有用性を自覚した姿である（Cn）。

## 6 本時の構想（本時 12/20時間）

### (1) ねらい

関係付けるすべを用いて、自分たちが発信しようとしている内容と野内さんのアドバイスや質問を結び付けて、新たな課題を設定することができる。

### (2) 主張（展開）3Q（45分）

#### このような子どもに（C0）

- 3回のまち歩き体験や野内さんとのかかわりを通して学んだことを、寄居コミュニティハウスの方々に発信しようとしている。
- ・日和山で野内さんが取り組んでいることを、劇にして発表しよう。
- ・日和山は昔は有名だったが、年が経つにつれて廃れてしまった。それを野内さんが「日和山五合目」を建てて復活させたことを、動画にして伝えよう。
- ・「日和山五合目」にはカフェがあって、そこではおいしいアイスが食べられる。このことを写真を使って伝えたいな。

**このように働き掛けると【働き掛け1】**

- 野内さんに、発信する内容をみてもらい、アドバイスをしてもらおう。
    - ・説明「今日は特別に野内さんにお越しいただき、みんなの発表を見てもらうことにしました。発表が終わった後、野内さんからアドバイスをもらいたいと思います」
- ※野内さんからのアドバイスの内容

とてもおもしろい発表だったと思います。劇チームはシンデレラの話をもとにして日和山の情報を伝えていました。聴いている人に楽しんでもらおうという伝える工夫がありました。動画チームは、短い時間にコンパクトに伝える内容をまとめたのが素晴らしい。まるでコマーシャルみたいでした。写真を使って説明したチームも、日和山にはどんな意味があったのか、新潟だけでなく全国にもあるといった豆知識が入っていて、聴く人の好奇心をくすぐる内容だなと思いました。

- 野内さんに、発信する内容について質問をしてもらおう。
    - ・説明「今度は、野内さんから質問をしてもらいます」
- ※野内さんからの質問の内容

- ・ どうしてシンデレラの劇にして発表しようと思ったのですか？
  - ・ なぜ動画や写真を使った説明を入れようと思ったのですか？
  - ・ 劇や動画、写真を用いた発表を一つにまとめたのはなぜですか？
  - ・ 伝える相手を、寄居コミュニティハウスの利用者の方にしたのはなぜですか？
  - ・ なぜ日和山のことを伝えようと思ったのですか？
  - ・ 日和山のことでなく、私（野内さん）のことも発表しようとしてくれるのはなぜですか？
  - ・ この発表で、みんなが特に伝えたいことはどんなことですか？
- ※野内さんには、この他にも質問したいことを話してもらおう。

**このようになり (C1)**

- 自分たちが発信する内容を野内さんに見てもらおう。
  - ・ 野内さんの日和山での活動を劇にして発表します。
  - ・ 日和山が野内さんの手で復活したことを動画で伝えます。
  - ・ 「日和山五合目」の写真を使って、そこに何があるかを説明します。
- 野内さんからの質問に答える。
  - ・ 劇にした方がおもしろいと思ったからです。去年のお茶の間でも、劇にして発表したからです。
  - ・ 動画は写真や音楽が入れられて、見ている人に喜んでもらえると思います。写真は、実際の日和山五合目の様子が、行ってない人にも伝わるから使いました。
  - ・ 劇や動画を一つにまとめた方が、見ている人にまとめて伝わって分かりやすいと思いました。
  - ・ 伝える相手を寄居コミュニティハウスの人にしたのは、高齢者の人は、日和山が変わっていったことをあまり知らないと思ったからです。
  - ・ 日和山のことを伝えたいと思ったのは、実際に日和山に行って、野内さんの話を聴いたり、アイスを食べたりして、楽しかったからです。他の人にも行ってほしいと思いました。
  - ・ 野内さんのことも伝えたいと思ったのは、日和山が盛り上がってきたのは、野内さんのお陰だと思ったからです。
  - ・ 発表で伝えたいのは、日和山の魅力です。歴史や、カフェのことなどを伝えたいです。

**このように働き掛けると【働き掛け2】**

- 野内さんの思いを聴く場を設定する。
  - ・説明「野内さんは、子どもたちの話を聴いてどんな感想をもたれましたか」

皆さんが、日和山のことをたくさん伝えようとしてくれていることを、とても嬉しく思います。私はまち歩きや日和山の面白さを発信していますが、他の人がその面白さに共感して発信してくれると「一緒に関わってよかったな」と思います。日和山での活動について、少し付け足させてください。皆さんの発表だと、私一人で頑張ってきたという感じがするのですが、もちろん私一人だけの力で日和山が復活したわけではありません。そこにはたくさんの方が関わってきたのです。日和山の魅力を伝えたら、それをおもしろいと思った人が集まってきた。その人たちで何かできないか考えて、日和山での活動を考えてきました。大変なこともたくさんありましたが、いろいろみんなで取り組んできた結果として、今の「日和山五合目」があるのです。だから、いきなり「日和山五合目」ができたのではないのです。日和山が復活するまで、いろいろな物語があったことを知ってもらえたら嬉しいです。

ね。

それから、私が日和山の活動で伝えたいことは、二つあります。一つは、“あるもの探し”の大切さです。人はどうしても“ないものねだり”をしてしまう。それだと幸せにはなれないと思うのです。どんなところにも、面白いものがあるという気持ちでいけば、何か見付かるかもしれません。まち歩きも日和山も、新潟にあった面白さの再発見なのです。

もう一つは“興味をもったら、その面白さを発信すること”の大切さです。皆さんも今、日和山の面白さを発信しようとしてくれていますよね。それは、とても大切なことだと思います。先ほども話しましたが、私もまち歩きや日和山の面白さを発信することで、それをおもしろいと思った人が来てくれて、どんどん活動が広がっていきました。人は楽しそうなところに集まってくるのです。だから、自分が楽しいと思って発信していると、どんどん共感してくれる人が集まってくるのです。皆さんもそういう経験はないですか？

○

野内さんの思いを聴いて、共感したことはないかを問う。

- ・発問「野内さんのお話を聴いて、自分もそう思うなどと共感することはありましたか」

### このようになり (C2)

○ 野内さんの思いを聴く。

○ 野内さんの思いを聴いて、自分の経験と関係付けて共感したことを話す。

- ・去年、お茶の間をやったときに、防災のことを劇にして発表して喜んでもらったときはすごく嬉しかったです。
- ・私は去年、下町の活性化プロジェクトをやって、魅力を動画にして発信しました。動画をお店の人に見せたらとても喜んでくれて、やって良かったなと思いました。

### このように働きかけると【働き掛け3】

○ 野内さんの思いをウェビングマップを用いて整理させる。

- ・発問「野内さんのお話を聴いて、心に残った言葉はありますか」
- ・指示「模造紙にグループでどんな言葉が心に残ったかまとめていきましょう」

○ ウェビングマップを基に、発信する内容と方法について、改善点を問う。

- ・発問「模造紙にまとめられた言葉を見て、発信する内容と方法について、何か付け加えたいと思ったことはありますか」
- ・指示「付け加えたいと思ったことがある人は、ワークシートに書きましょう。特にないという人は、今日の学習の感想を書きましょう」

### このようになり (C3)

○ 野内さんの思いを聴いて、心に残った言葉を挙げて、整理していく。

- ・あるもの探しの大切さという言葉が大事だと思った。野内さんはそういう考え方でまち歩きや日和山の活動をしていたんだ。
- ・楽しそうなところに人は集まる。だから日和山には人が集まる。
- ・日和山にはいろいろな人が関わっていた。復活の物語がある。
- 発信する内容と方法について、改善点を記述する。
  - ・私は、発表の中に「あるもの探しの大切さ」というメッセージを入れたいと思いました。
  - ・日和山に人が集まる秘密を入れるといいと思います。今日の授業で、日和山に人が集まるのは、アイスやカフェがあるだけではないと思いました。きっと面白さを発信しているからだと思います。
  - ・「日和山五合目」ができるまで、どんなことがあったのか、もっと詳しく調べてみたいです。

~~~~~ 本時ここまで ~~~~~

### このように働きかけると【働き掛け4】

○ 調べたい視点を明確に設定した上で、調査活動に取り組ませる。

- ・指示「前の時間に考えた、さらに詳しく調べたいことについて、調べていきましょう」
- ※「日和山五合目」に再度問う。
- ※デジタルカメラを用意し、必要であれば記録させる。
- ※野内さんへのインタビューは、事前に質問項目を用意しておく。

### このようになり (C4)

○ 何を調べるか視点を明確にした上で、調査活動に取り組む。

- ・野内さんに、「日和山五合目」を建てた理由をもう一度詳しく聞いてみよう。
- ・「日和山五合目」にある、昔の日和山についての資料を見せてもらおう。
- ・「日和山五合目」の外側だけではなく、中も写真を撮らせてもらおう。どんな人たちが訪れて、

どんな話をしていくのかも聞いてみよう。

- ・「日と山五合目」が、いろいろな雑誌や新聞に取り上げられていることが分かったよ。何でこんなに取り上げられるようになったのかな。

#### このように働き掛けると【働き掛け5】

- 設定した視点を基に収集してきた情報を、整理させる。
  - ・指示「集めてきた情報を、前の発表内容の中にどうやって活かすことができるか模造紙にまとめてみましょう」
- 収集して整理した情報の中で、一番伝えたい情報は何かを問う。
  - ・発問「みなさんが集めてきた情報の中で、一番伝えたい情報はどれですか」
  - ・問い返しの発問「なぜその情報を選んだのですか」

#### このようになり (G5)

- 「日と山五合目」に行って、収集してきた情報を整理する。
- 収集した情報同士を結び付けて、一番伝えたい情報を選び、その理由を説明する。
  - ・「日と山五合目」で野内さんに見せてもらった新聞記事の中にあった“ないものねだり”ではなく“あるもの探し”の面白さを伝えたいという野内さんの言葉を伝えたいです。野内さんのまち歩きや日と山での活動は、まさにこの“あるもの探し”をしてきた結果なのだと思います。だから、今あるものの大切さを見つけようということ伝えたらよいと思います。
  - ・私は、やっぱり野内さんがまち歩きをしてきた事実を伝えたいです。野内さんは、新潟のまちの魅力“あるもの探し”の考え方で見つけて発信することで、新潟の魅力を伝えてきました。そして、そのことが野内さんの生きがいにもなっていました。私は、地域のためになっていることが、自分の生きがいにもなっていることがいよいよいなと思いました。

#### このように働き掛けると【「学びをつなぐ力」の有効性の自覚を促す働き掛け】

- 寄居コミュニティハウスで学んだことを発表させた後で、自分たちが取り組んできた学習の成果を振り返らせる。
  - ※寄居コミュニティハウスでの発信活動を終えた後に行う。
  - ・発問「今までの活動を振り返って、野内さんとかかわりで自分が何を、どのように学んだと思いますか」
  - ・補助発問「最初の発表内容と、改善した発表内容を見比べてみると、何を学んだのかが分かるかもしれませんね」

#### このようになる (Gn)

- 活動を振り返り、何をどのように学んだのかを自覚する。
  - ・私は、野内さんの活動を体験したり、調べる中で、あるもの探しの大切さを学びました。野内さんの活動の裏側にはいつもこのあるもの探しの大切さがありました。
  - ・実際に野内さんの活動を伝えてみて、野内さんの活動の意味が分かった気がします。野内さんが話していた通り、発信したことが伝わることは嬉しいことだと思いました。だから、僕は伝えることの大切さを学んだと思います。

## 7 検証

### (1) 検証すること

- ① 構想した働き掛けにより、「中核的な知識や技能」を獲得することができたか。
- ② 構想した働き掛けにより、「学びをつなぐ力」を発揮することができたか。
- ③ 構想した働き掛けにより、「学びをつなぐ力」の有用性を自覚することができたか。

### (2) 検証の方法

- ① 働き掛け5を受けて、                    のように、新潟のまちの魅力を伝え続ける野内さんの思い（新潟の魅力を“あるもの探し”の考え方で見つけて発信することが、地域活性化につながり、自己実現にもなっているということ）をとらえられているかを、学習の振り返りの記述から検証する。
- ② 働き掛け1～3を受けて、                    のように、関係付けるすべを用いて、自分たちの気付きと野内さんのアドバイスや質問を関係付けて課題を設定することができたか、話し合いの様子とワークシートの記述から検証する。（本時）
- ③ 「学びをつなぐ力」の有用性を自覚することができたかどうかを、学習のまとめシートの記述から検証する。